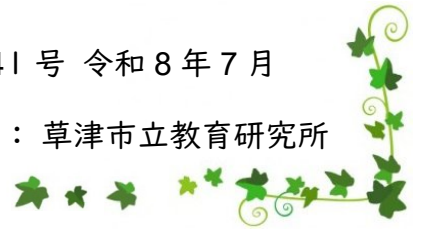




研究所だより

第 141 号 令和 8 年 7 月

発行：草津市立教育研究所



対立から「Win-Win」の協働へ

児童生徒支援課長・木村学

学校と保護者の関係は、こどもの健やかな成長を支えるための「車の両輪」です。しかし近年、価値観の多様化や双方の多忙化に伴い、時に心理的な距離や摩擦が生じる場面も少なくありません。双方が対立や反発に陥るのではなく、協働して高い相乗効果を生み出す「Win-Win」の関係を築くためには、共通目標の再確認と、対等なパートナーシップの確立が不可欠であると考えています。

第一に、両者が「こどもの幸せと豊かな成長」という絶対的な共通ゴールを共有していることを、常に強く意識すべきです。学校が集団生活における社会性や学力を育む場であるのに対し、保護者は家庭における情緒的安定を支える基盤です。双方が異なる役割を担いながらも、同じ目的地を目指していると相互に理解できれば、不信感ではなく「相互補完」の意識が芽生えます。学校は教育のプロフェッショナルとしての専門的知見を提供し、保護者は我が子の最も身近な理解者として詳細な情報を共有します。このフラットで緊密な情報交換こそが、こどもを多角的に理解し、最適な支援を展開するための強固な基盤となります。

第二に、コミュニケーションの質的な転換が必要です。従来の学校と保護者の関係は、学校からの連絡事項を一方的に伝達する受動的な形に陥りがちでした。「Win-Win」の関係を構築するためには、双方向の対話への移行が極めて重要となります。学校側は指導方針や行事の意図を事前にわかりやすく開示し、保護者の不安を先回りして解消する姿勢が求められます。お互いの思いや背景にある意図を丁寧に共有し合うプロセスそのものが、強固な信頼関係を育みます。学校と家庭のあいだに信頼と感謝の循環が生まれ、教職員の労働環境が改善して心身にゆとりが生まれれば、それは最終的に手厚い指導や丁寧な心のケアという形で、確実にこどもたちへと還元されます。

さらに現代においては、ICT ツールの積極的な活用も関係改善に大きく寄与します。連絡帳のデジタル化や専用アプリによる迅速な情報共有は、働く保護者の時間的・心理的負担を軽減するだけでなく、教職員の業務効率化にもダイレクトに貢献します。お互いの「時間」という貴重な資源を尊重し合い、形骸化した手続きを省いて本質的な教育活動に注力できる環境を整えることも、現代における極めて重要な連携の形です。

学校と保護者は、一方に依存し合う関係でも、相互に監視し合う関係でもありません。こどもをまんやかに据え、お互いの強みを活かして支え合う「一つのチーム」です。共に手を取り合い、温かな教育コミュニティを形成することを通して、こどもたちに最高の教育環境を提供する。それこそが、私たちが目指すべき真の「Win-Win」の姿ではないでしょうか。

令和8年度 校内研究主題

学 校 名	研 究 主 題	教科等
志津小学校	自ら考え協働することの育成 ～学びをつなぎ、課題に生かす「生きた学び」を育むカリキュラムの創造～	生活科 総合的な学習の時間
志津南小学校	こどもの思いや願いから学習をデザインする(2年次) ～「教える」材からの脱却 こどもが「学ぶ」ための材へ～	全教科
草津小学校	主体的に言葉による見方・考え方を働かせ、自分の思いを深める授業の創造 ～40分授業の中で「言葉による学び方」を育む手立ての工夫を通して～	国語科
草津第二小学校	「かんじる ためす やってみる」 ～こどもの中の「つくりたい」を育て、生かす学習を目指して～	図画工作科
渋川小学校	考えを形成し、思考を整理して よりよく表現する力の育成	国語科
矢倉小学校	考えをもち、発信する子どもを育てる ～心理的安全性を高め、課題設定・発問にこだわって～	全教科
老上小学校	「子どもとつくる、子どもがつくる授業づくり」 ～子どもの主体性を育む課題・発問の工夫～	全教科
老上西小学校	「自ら考え、自分のことばで伝える子どもの姿をめざして」 ～学びに向かう基礎力・基礎学力の向上・コミュニケーションスキルの向上～	国語科
玉川小学校	やってみたいがあふれる学び ～試行錯誤を通して、仲間と広げる探究的な学びの実現～	生活科 総合的な学習の時間
南笠東小学校	「失敗から学び、学び続ける児童の育成」 ～温かい関わりを基盤とした問題発見・解決の学びの推進～	全教科
山田小学校	どの子どもが「わかる」「できる」喜びをあげ、主体的に取り組む子どもの育成 ～子ども主体の課題発見・ふりかえり活動を通して～	全教科
笠縫小学校	「自ら学び伝え合う力を育てる授業づくり」 ～学びに向かう力を高める学習展開の工夫を通して～」	全教科
笠縫東小学校	子どもたちの自信や意欲を培う授業の創造 ～問題発見・解決学習を通して～	全教科
常盤小学校	カードの活用を通して、読みを深め合う国語科の授業づくり	国語科
高穂中学校	学級経営と教科指導の両輪で、生徒の主体性を育む	全教科
草津中学校	自分の考えをもち、適切に表現できる生徒の育成	全教科
老上中学校	探究的学習により意見交流を重ねて考動・発信する生徒の育成 ーESD を中心とした総合的な学習の時間と教科の学習との往還を重ねた取組ー	全教科
玉川中学校	「自ら課題を見つけ、協働の学びを推進し、解決をめざす生徒の育成 みらい ー未来ー」	総合的な 学習の時間
新堂中学校	協同から創発へ ーESD で地域と拓く新しい学びー	全教科
松原中学校	学びを深める授業の実現に向けた指導の在り方 ～ESD・教科等の部会の充実を目指して～	全教科 全領域

今年度の各小中学校の校内研究の研究主題を紹介します。どの小中学校でも、指導力の向上をめざして取り組まれています。ぜひ、研究内容や取組の情報交換に活用してください。

令和8年度草津市教職員夏期研修講座のご案内

令和8年度草津市教職員夏期研修講座

<全13講座>

草津市立教育研究所

No.	講座名	主な内容	講師	日時	場所	主な対象・備考
1	人権教育講座	「インターネットと人権」 現代の教育現場で深刻化し、教職員が向き合うべき重要なテーマである「インターネットと人権」。ネット上での部落差別、誹謗中傷、アウティング、心ない書き込みなど、子どもたちが直面する人権侵害の現状を深く理解し、具体的な対応策を学びます。明日からの学校づくりに活かせるヒントを見つけ、子どもたちを人権侵害から守り、差別のない学校を築くため、共に考え、実践力を高めませんか。皆様のご参加をお待ちしております。	滋賀県人権センター 松浦 広明さん	7月23日 (木) 9:30 ～ 11:30	教育研究所 研修室	すべての教職員。
2	学力向上講座 (英語科) (他機関連携) 【学校政策推進課】	「外国語科におけるパフォーマンス評価(課題・ルーブリック)の設計とそこにつながる日々の指導と評価の工夫」 「単元のゴールの活動につながる日々の活動。ゴールの活動の評価と活かし方」に悩んでいる先生方におすすめです。 本講座は、外国語科の学力向上を推進する「パフォーマンス評価の設計」と、日々の指導・評価の連携に焦点を当てます。目的・場面・状況を工夫した課題設計、日々のコミュニケーション活動、そして中間評価やフィードバック、自己調整学習を促す評価の工夫を、実践事例を交えて紹介します。子どもたちの英語力を向上させ、授業に新たな視点をもたらすヒントを共に学びませんか。	佛光大学教育学部 准教授 赤沢 真世 さん	7月23日 (木) 13:30 ～ 15:45	教育研究所 研修室	・英語科・外国語活動の授業改善に関心がある方 ・英語教育推進委員会の方 (第二回英語教育推進委員会を兼ねています。)
3	ウェルビーイングな学校づくり講座	「ウェルビーイングな学校をつくる“言葉の力” ～ベップトークで育む関係づくり～」 あなたの言葉が、学校の未来を変えたら?本講座では、言葉が心にも与える影響を知り、ポジティブな言い換えや、心のこもった「言葉かけ」のコツを学びます。子どもも同僚も自分も輝く「ベップトーク」を学び、自分自身を励ます「セルフベップトーク」で、教職員としてのウェルビーイングも高めましょう。実践を通じて、人間関係が育まれ、誰もが笑顔になれる未来の学校を共に創りませんか。ぜひご参加ください。	淡海言の葉教育研究所 代表 安岡 寛 さん	7月24日 (金) 9:30 ～ 11:30	教育研究所 研修室	すべての教職員。
4	これからの性に関する教育講座	「未来を育むプレコンセプションケア ～健康とウェルビーイングの視点～」 子どもたちの未来を拓く、新しい「性に関する教育」の視点から、人生100年時代を見据えた健康とウェルビーイングの重要性を深めます。教職員がこの視点を持つことは、子どもたちが生涯を通じて心身ともに健やかに、自らの未来を豊かに選択し、築く力を育む上で不可欠です。今、学校で何ができるのか。未来のために大切な学びを、共にしませんか?皆様のご参加をお待ちしております。	ふちもと助産院 測元 純子 さん	7月24日 (金) 13:30 ～ 15:45	教育研究所 研修室	すべての教職員。
5	多様な教育的 ニーズ講座 (他機関連携) 【子ども家庭若者課 共催】	「ヤングケアラー支援における学校等の役割について」 見えにくい「ヤングケアラー」問題は、子どもたちの学びや成長に大きな影響を与えています。なぜヤングケアラー支援が必要なのか、学校が果たすべき役割や他機関との連携、子どもたちのサインに「気づくための視点」、具体的な「支援へのつなぎ方」を「ケーススタディ」を交えて学びます。さらに、支援を届ける上で重要な「受援力」についても考えます。すべての子どもたちが安心して学べる環境を共に創りませんか?この機会にぜひご参加ください。	滋賀県教育委員会 幼小中教育課 滋賀県SSW SV 上村 文子さん	7月27日 (月) 9:30 ～ 11:30	教育研究所 研修室	・担任、この講座に関心のある方。
6	こどもまんなかの 学校づくり講座	「『こどもまんなか』から始まる学校づくり ～生徒自治と共創プロジェクトから見えてくる、これからの学校～」 「こどもまんなか」の教育は、こどもの無限の可能性を引き出します。こどもが学校のルールやビジョンを創り、決定権を持つ「自治と共創の取り組み」の全体像を明らかにします。学力向上、教職員の意識変革、生徒・保護者との関係性改善へと繋がった変化のプロセスを、「なぜ変わったのか」という問いとともに深掘りします。教職員の伴走と柔軟な姿勢がもたらした成果を、こどもの願いから生まれた具体的な事例から学び、日々の教育現場に、新たな可能性を広げるきっかけを探しませんか?	泉大津市立小津中学校 主席・研究主任 大達 雄 さん	7月27日 (月) 13:30 ～ 16:00	教育研究所 研修室	・特別活動(児童会・生徒会)、生徒指導など、こどもの意見を尊重した校則やルール作りに興味のある方。
7	ICT教育講座 (他機関連携) 【学校政策推進課】	「AI型デジタルドリル『キュービナ』活用研修会」 キュービナの基本操作や学習履歴の確認方法に加え、児童生徒一人ひとりの理解度や学習進度に応じた活用方法について学びます。また、授業や家庭学習での効果的な活用事例を紹介し、「個別最適な学び」の実現に向けた具体的な実践方法を共有します。日々の授業改善や学習支援に役立つ内容となっていますので、ぜひご参加ください。	株式会社 COMPASS 小森 由貴さん	7月28日 (火) 13:30 ～ 16:00	教育研究所 研修室	・AI型デジタルドリルを個別最適な学びで活用したい方や授業での利用をしたい方。 ※校務用端末をご持参ください。
8	就学前教育の 充実講座 (幼保小接続) (他機関連携) 【幼児課】	「保幼小の滑らかな接続を進めるために ～もう一歩踏み出すには～」 子どもたちの学びと育ちを豊かに繋ぐ「保幼小接続」。より滑らかな接続のために、自分自身をアップデートしませんか?送る側・受ける側の視点に加え、現場で直面する課題を乗り越える具体的な推進方法を探ります。明日からの実践に役立つヒントを得て、未来を担う子どもたちのために、具体的な一歩を踏み出しましょう。	京都橘大学 教授 佐敷 恵威子 さん	7月29日 (水) 9:30 ～ 12:00	教育研究所 研修室	・保育所やこども園、幼保小連携担当の方、幼保小接続に興味のある方。
9	特別支援教育 講座	「勉強に困っている子のみかた」 ～学習に困るをもつこどもの理解と支援について～ 日々の教育現場で、「勉強に困り感」を持つ子どもたちへの理解を深め、具体的な支援のヒントを見つけませんか?コミュニケーションや注意の維持困難、学習障害など、多様な「困り」の背景を多角的な視点から捉えます。実践的な取り組みのヒントに加え、思春期・青年期の自己理解を促す関わりについても学び、子どもたちの可能性を広げる一助となることを目指します。皆様のご参加をお待ちしております。	県立総合病院 小児科医 澤井 ちひろ さん	7月29日 (水) 14:00 ～ 15:30	教育研究所 研修室	・特別支援学級や特別支援教育に関わる方、学級に気になる子がいる教職員。 ※教職6年次研修の対象者は御参加ください。 ※特別支援教育部会の方は各校1名以上御参加ください。

No.	講 座 名	主 内 容	講 師	日 時	場 所	主 な 対 象 ・ 備 考
10	学力向上講座 (社会科)	「『教える喜び、学ぶ面白さ』を再発見する社会科教育」 社会科教育に、新たな「喜び」と「面白さ」を見出しませんか？探究的な学びを通して、こどもたちが自ら知を深める「探究プロセス」を、授業にどう効果的に取り入れるかを探ります。知的好奇心を刺激し、「ワクワクする社会科授業」を創造するための具体的な視点と実践のヒントが満載です。明日からの授業に活かせる「教える喜び、学ぶ面白さ」を再発見し、共にこどもたちの学びを豊かなものにします。皆様のご参加をお待ちしております。	三重大学 教育学部 准教授 久保田 重幸 さん	7月31日 (金) 13:30 ～ 16:00	教育研究所 研修室	・社会科の授業デザインや社会科を通して探究を深める視点について学びたい方。 ・社会科教諭や社会科を担当されている方。
11	生徒指導講座	「『話し上手・聞き上手』で信頼を築く！ 生徒指導のためのコミュニケーションスキルアップ」 こどもたちの成長を支える生徒指導において、本音を引き出し、確かな信頼関係を築くこと非常に重要です。限られた時間の中でも、本当に必要な情報を効率的に聞き取り、それを的確に把握する力を養います。実践ワークを通して、明日からすぐに役立つコミュニケーションスキルを習得することで、こどもたちとの対話はより深まり、生徒指導を効果的かつ実り多いものへと導ききつかけとなります。皆様のご参加をお待ちしております。	フリーアナウンサー 牧田 もりかつ さん	8月3日 (月) 9:30 ～ 11:45	教育研究所 研修室	・若手(経験年数10年未満)の教職員。 ※3年間開催予定(今年度2年目)なので、3年間で一度は受講してください。
12	生徒指導・教育 相談講座	「一人で抱え込まない チームで解決する問題行動《初級編》」 生徒指導の課題は多様化・複雑化し、解決の糸口が見つからず、行き詰まることも少なくありません。問題解決支援コーディネーター、スクールカウンセラー(SC)、スクールソーシャルワーカー(SSW)の専門家から、チームで課題を解決する基礎を学びます。SC・SSWの役割を深く理解し、カウンセリングを通じたこども・保護者の理解を促進し、支援が必要な児童生徒の情報共有を最適化することで、先生方の生徒指導・教育相談は飛躍的に前進し、より効果的な実践へとつながることになります。ぜひご参加ください。	児童生徒支援課 学校問題解決支援チーム 柴原 カさん 津村 祥枝さん 石田 綾さん	8月3日 (月) 13:30 ～ 16:00	教育研究所 研修室	・担任、教育相談、生徒指導担当、この講座に関心のある方。

研究発表大会	講演内容	発表者・講師	日 時	場 所	主 な 対 象 ・ 備 考
第1部 奨励論文・ 研究論文発表会	① 対話からはじめる“三方よし”の組織作り ～小さなことからコツコツと～ ② AI画像生成の活用により「読み解く力」を育成する学習プログラムの開発 ③ 社会の形成者としての資質・能力を育む授業づくり ④ 研究報告(令和7年度教育研究所研究員より) 不登校児童生徒の社会的自立を育む登校支援室の運用に関する研究 ～協働学習の充実の視点から～	① 笠縫魂サポートチーム 代表 宇野 智子さん (笠縫こども園) ② 笠縫東小学校 2年 代表 西嶋 良さん (笠縫東小学校) ③ 萩原 誠人さん (玉川中学校) ④ 玉木 裕さん (笠縫小学校)	7月30日 (木) 13:00 ～ 16:30	教育研究所 研修室	・教育研究や実践を深めたい方。 ・ESDの推進に関心のある方。 ※令和8年度研究奨励事業応募者の方は御参加ください。 (研究奨励事業応募者の中間研修会を兼ねています。)
第2部 教育講演会 《ESD》	「2030年以降の教育を構想する — SDGsのその先にある学びとは —」 <講演概要> 教育現場は、SDGs達成目標の2030年を目前に控え、持続可能な変革が喫緊の課題です。 本講演では、ESD(持続可能な開発のための教育)の視点から、教育のあり方、教員の働き方、学校運営の変革を構想します。 SDGsのその先を見据え、未来の学びと教育現場の姿を共に考えていきましょう。	伊井 直比呂 さん (大阪公立大学 客員研究員 神戸女学院大学 特任教授)			

NITS のオンライン講座のご紹介



新しいコンテンツが追加されています。こちらもぜひご活用ください

基礎的研修シリーズ

No1	小学校教師の仕事を体験しよう！① ～新人教師の一日に密着！～	No18	指導要録・通知表の書き方
No2	小学校教師の仕事を体験しよう！② ～教師と子供たちの一年間～	No19	保護者と信頼関係を築く① ～保護者会・個人面談～
No3	まずは一社会人として ～挨拶、言葉遣い、報・連・相～	No20	保護者と信頼関係を築く② ～連絡・相談～
No4	スクール・コンプライアンス	No21	保護者と信頼関係を築く③ ～保護者からの訴えへの対応～
No5	学校の組織、チーム学校	No22	いじめ問題
No6	学級開き	No23	不登校
No7	学級目標・学級生活づくり	No24	ICT 活用（GIGA スクール構想）
No8	安心して学べる環境づくり ～教室環境～	No25	特別支援教育
No9	学級生活を楽しく豊かに ～日直・係の仕事～	No26	特別の教科 道徳
No10	望ましい食習慣を育む ～給食指導～	No27	学び続ける教師をめざして ～学びを深める校内研修～
No11	一日の始めと終わりを大切に ～朝の会・帰りの会～	No28	新たな教師の学び
No12	教材研究の方法	No29	生まれ変わっても教師になりたい！ ～現役教師座談会～
No13	単元指導計画の立て方	No30	会社員から教師になって ～若手教師インタビュー～
No14	学習指導案の書き方		
No15	子供の心をつかむ ～授業の導入～		
No16	分かる授業をつくる ～効果的な発問・板書～		
No17	学力向上の取組		

校内研修シリーズ

<新着動画（令和7年度制作分）>

No177	教育機会確保法と COCOLO プラン	No183	教育現場におけるセキュリティ対策Ⅲ（人的セキュリティ）
No178	学校に身近な福祉	No184	教育現場におけるセキュリティ対策Ⅳ（技術的セキュリティ）
No179	「障害のある方へのスポーツ指導・関わり方入門ハンドブック」について	No185	こどもの居場所について
No180	学校におけるいじめ問題への対応のポイント	No186	子どもの権利 ～その理解と実践に向けて～
No181	教育現場におけるセキュリティ対策Ⅰ	No187	地域とともにある学校づくりⅡ ―学校と地域のつながり―
No182	教育現場におけるセキュリティ対策Ⅱ（物理的セキュリティ）		

研究発表大会

日時: 令和8年7月30日(木)

場所: 草津市立教育研究所 研修室



第1部 奨励論文・研究論文発表会 13:00~14:30

●令和7年度草津市教育研究奨励事業表彰者による発表

① 対話からはじめる“三方よし”の組織作り ~小さなことからコツコツと~

笠縫魂サポートチーム 代表 笠縫こども園 宇野 智子 さん

② 社会の形成者としての資質・能力を育む授業づくり

玉川中学校 萩原 誠人 さん

③ AI 画像生成の活用により「読み解く力」を育成する学習プログラムの開発

笠縫東小学校2年 代表 笠縫東小学校 西嶋 良 さん

●令和7年度教育研究所研究員による研究報告

不登校児童生徒の社会的自立を育む登校支援室の運用に関する研究
~協働学習の充実の視点から~

びわ湖フローティングスクール 玉木 裕 さん

※令和8年度研究奨励事業応募者の中間研修会を兼ねています。

今年度の研究奨励事業に御応募いただいている方は、ぜひ御参加ください。



第2部 教育講演会 14:45~16:30

「2030 年以降の教育を構想する —SDGs のその先にある学びとは—」

演題

開会行事	14:45~14:50
講演	14:50~16:20
閉会行事	16:20~16:30

講師 大阪公立大学 客員研究員
神戸女学院大学 特任教授 伊井 直比呂 さん

【講演の概要】

教育現場は、SDGs 達成目標の 2030 年を目前に控え、持続可能な変革が喫緊の課題です。

本講演では、ESD（持続可能な開発のための教育）の視点から、教育のあり方、教員の働き方、学校運営の変革を構想します。SDGs のその先を見据え、未来の学びと教育現場の姿を共に考えていきましょう。

ぜひご参加ください。

主催 草津市教育委員会
草津市立教育研究所

スキルアップ支援講座

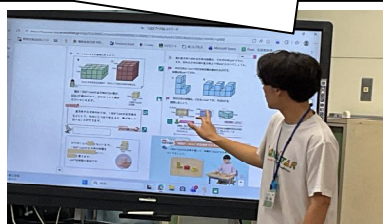
●授業づくり・学級づくり支援

スキルアップ支援講座（授業づくり・学級づくり支援）では、年間5回の学校訪問を行い、授業参観と振り返りを通して「授業力」「学級経営力」の向上につなげるポイントとともに考えています。限られた実施回数の中で、こどもたちが主体的に学ぶためだけでなく、先生自身もよりよい授業・学級づくりに向けての「学ぶ意欲」を高められるよう、具体的な場面を通じて授業展開や子どもとの関係づくりについて支援をしています。

1学期の2回の訪問の内容と、支援のポイントを以下に紹介します。

◎第1回：対象の先生の授業参観と懇談

5月～6月の1回目の訪問では、対象の先生の授業参観と個別の懇談を行い、客観的な視点からの授業評価とともに、先生方が普段心掛けていたり悩んだりなどについて話し合う中で、自分なりの気づきや自信につながるよう支援をしてきました。



◎第2回：校内の他の先生の実践に学ぶ

6月～7月の訪問では、各学校のOJT推進リーダー等の先生の授業を参観させていただき、授業づくりや子どもとの関係づくりから、自分の実践に生かしていけるポイントについて、学びを深めました。

◆支援のポイント（教師側からの）授業展開や学習形態の工夫 ⇒（こどもの側からの）主体的に取り組むようになる内容や、考える／話し合う必然性のある課題や発問

「主体的・対話的で深い学び」を意識して、1時間の授業構成では多くの先生が、「自分で考える時間」、「班で話し合う時間」、「全体で共有する時間」というように、構造化された学習の組み立てをされています。ただそれが形式的にならないために、何のために話し合うのか、話し合う価値のある課題設定なのか等を懇談の中で振り返っています。



●ICT 活用支援

ICT 活用支援では、年間6回の授業参観・懇談を実施します。ICTの基本的なスキルが身に付けられるように、ICT活用の情報提供を行った上で授業参観・懇談を行っています。

<授業での具体的な ICT 活用場面>



<個別最適な学び>

ICTは、こどもたちの学びの質を高めるための重要な「手段」です。「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な実現に向けて、次のように有効活用を支援しています。

●個別最適な学びの充実

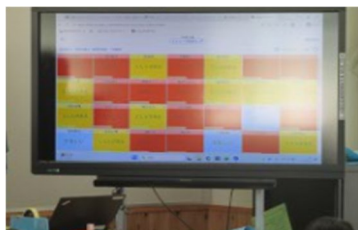
こども一人ひとりが最適な方法を選択して考えを見える化します。（思考の可視化）

●協働的な学びの充実

学級全体の多様な考えを瞬時に共有し、共通点や相違点を話し合います。（リアルタイム共有）



<個別最適な学び>



<協働的な学び>





やまびこだより



☎ 077-563-1270

～「やまびこ教室」5月、6月の活動から～

やまびこ教室は現在青地教室と上笠教室、そして野路教室を併せて、市内3つの教室で活動を行っています。普段は教室ごとに活動をしているので、その様子をお伝えします。

【青地教室】

野菜作りやクッキング

今年度は、こどもたちと一緒に畑で夏野菜やサツマイモの栽培を行っています。スコップを使って畝立てからはじめ、水やりや草むしりなどを行いながら、生長を楽しみにしています。また、クッキングやシャボン玉遊び、ロクハ公園散策なども楽しんでいます！（場所 青地）



【野路教室】



ユニット折り紙

みんなで手分けしてパーツを作り、いろいろな形のくす玉作りにチャレンジしています。少しずつパーツの折り方を複雑にしたり、色の数を増やしたり…。日を追うごとに職人のような腕前になってきています。

【上笠教室】

移動図書館

毎月草津市立図書館から、青色のかわいい車で、本を届けてくださいます。数も種類も豊富で、リクエストにも応えてくださいます。まさに本との出会いに感謝です。



カウンセラーのまなざし

学校現場にスクールカウンセラーの派遣が始まったのが1995年、約30年が経っています。カウンセリングという言葉やカウンセラーの存在も、ずいぶん身近になってきたのではないのでしょうか。

学校の先生方や保護者の皆様から「スクールカウンセラーをお願いしたい」と依頼される機会も増え、大変うれしく思っています。

カウンセリングに来られる方の多くは「こんなことで困っています」「どうしていいのかわからなくて」とお話しされます。最近では、インターネットで調べて「これに当てはまるのではないかとおっしゃる方も増えました。面談の中で「ネットの〇〇診断で調べたら当てはまった」と話してくれるお子さんもたくさんいます。

皆さん抱えておられるしんどさや困り感について、「なぜなんだろう」と一生懸命考え、答えを求めておられることが伝わってきます。

もちろん、明確に原因があり、それを取り除けば楽になるということもあるかもしれません。

しかし、こころの不調は一つの原因で起こることはめずらしく、きっかけとなる出来事の大きさ、その人自身の要因、周囲の環境など、多くのことが関係して今の状態を引き起こしていることが多いのです。そのため、「これさえ解決すれば」と簡単には行かないのが、心理支援の難しいところです。

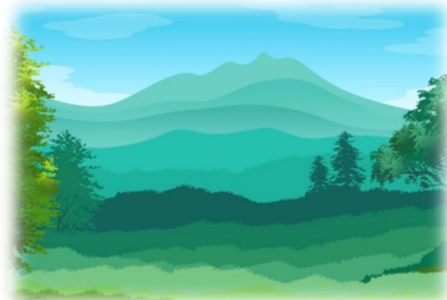
また、「このくらいのことだと思われるかもしれませんが…」ということばもよく耳にします。カウンセリングの中では、先に書いた通り「その出来事の大きさ」についても考えますが、それ以

上に、その出来事が相談者にとって「どのように経験されたか」を尋ねていきます。何があったかと同時に、そこで「どう感じ、どう考えたか」を丁寧に振り返っていくのです。すると、「あの時はこう思ったけど、今考えるとこうだったかもしれない」とか、「こう言っただけで、本当は今でもここが引っかかって…」など、その人にとっての捉えが見えてきます。

また解決についても、「その人自身が納得できること」が目標となります。もちろん、カウンセラーも「こうなってくれたらいいな」という思いがないわけではありませんが、あくまで解決の主体は相談者自身だと考えています。様々な提案をすることはありますが、その人自身が納得していないことをやってみても、本質的な解決には至らないのです。そういう意味では素早い解決を目指すというよりは、当事者の思いを大切に、じっくりと納得のいく結論を目指すのがカウンセリングと言えるのかもしれませんが。

あらゆる変化のスピードが加速し、それに対応することが求められる現代ですが、こころに残る出来事について、「自分にとってはどんな体験だったのか」をゆっくりと振り返る時間を取ってみてはいかがでしょうか。

(草津市スクールカウンセラー 石田 綾)



シリーズ

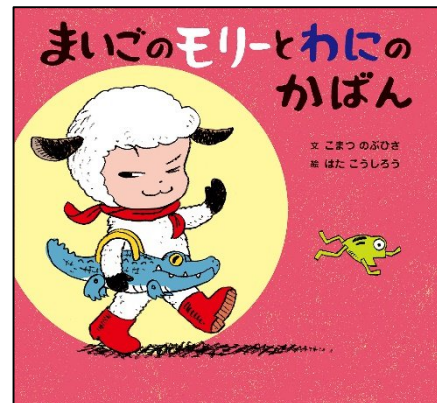
司書さんおすすめの絵本



まいごのモリーとわにのかばん／こまつ のぶひさ／文 はた こうしろう／絵／童心社

お出かけするのが大好きなひつじのモリーは、相棒のわにのかばんを持って出かけたけれど、迷子になってしまいました。いいにおいがする方向に行くとパン屋さんがあったので、パンを買おうとしたが、わにのかばんのくちはかたくて、財布をとりだすことができません。モリーはパンを買い、家まで帰ることができるのでしょうか。

いろんなトラブルに合いながらも、行動力のあるモリーは思わぬ方法で切り抜けていきます。子どもたち自身がモリーになったように楽しんで読めるおはなしです。



ミライチョコレート／ザ・キャビンカンパニー／著／白泉社

3024年のニッポンはチョコレートがない世界です。マヤは博物館へ行って「チョコレート」というものを知りました。町へチョコレートを探しに出かけますが、どこにもありません。探し回っていると、あるロボットと出会い、教えてもらいながらチョコレートを一緒に作りました。マヤは自分で作って初めて食べたチョコレートが大好きになります。

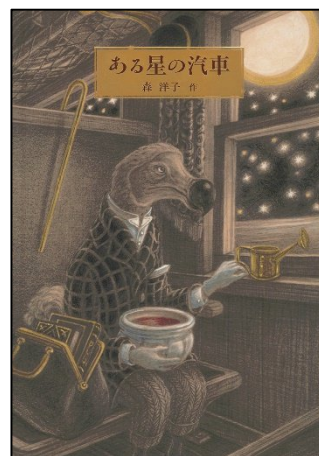
地球温暖化が進んで、原料であるカカオが育ちにくくなり、チョコレートが食べられなくなるかもしれない未来を考える、きっかけになる絵本です。



ある星の汽車／森 洋子／著／福音館書店

汽車の中で本を読んでいた男の子は、まわりからおしゃべりが聞こえてきたので車内を散歩してみると、たくさんのいろんな動物がいました。しばらくして、「1681」という駅に汽車が停まると、「モーリシャスドードー」という鳥が降りていきました。その後も駅に停まるたびに動物が次々と降りていきます。乗ってくる動物はいないのでしょ。そして、男の子はいつまで乗っていられるのでしょうか。

絶滅した年の駅名に停まった汽車から降りていく動物たちが美しく繊細に描かれています。



読み聞かせなどに、ご活用ください

このシリーズは、市立図書館の司書さんのご協力のもと作成しています。

